

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

- 目標をつなぐ
 - カリキュラムをつなぐ
 - 子どもの心をつなぐ
 - 教職員の意識をつなぐ
 - 家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和6年度（2024年度）
No.2（2024.5.16）
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

小中一貫教育研究モデル校の取組が始まりました！

令和6年度、4つの中学校区（三和中学校区、武蔵中学校区、長嶺中学校区、龍田中学校区）が、小中一貫教育研究モデル校に指定され、取組が始まりました。

「指定書」が全てのモデル校の校長先生方へ手渡されました。

松岡指導課長、横山教育審議員、中山教育審議員が、モデル校（全13校）を訪問し、直接、校長先生方へ「指定書」を手渡しました。

4月18日(木) 長嶺小学校、長嶺中学校、託麻南小学校

4月22日(月) 武蔵小学校、武蔵中学校、弓削小学校

4月23日(火) 龍田西小学校、龍田小学校、龍田中学校、
池上小学校、三和中学校、高橋小学校、城山小学校



松岡指導課長と龍田西小の堀下校長

各中学校区校長会で小中一貫教育の方針が検討されました。

各中学校区校長会で、それぞれの校区の実態に応じた取組の方針が検討されました。この方針が、次の取組へとつながっていきます。

- ・4月18日(木) 三和中学校区校長会
- ・4月23日(火) 長嶺中学校区校長会
- ・5月 8日(水) 龍田中学校区校長会
- ・5月 9日(木) 武蔵中学校区園長・校長会

5月10日(金) 幼小中連携教育担当者会

6月 7日(金) 幼小中連携の日



三和中学校区では、小中一貫カリキュラムに基づき、道徳の授業を中心に人権学習に取り組んでいきましょう。

目の前の地域の実情や子供たちの学びや育ちの現状と課題を的確に把握し、それらの課題の解決のための「効果的な手段」として小中一貫教育を構想する必要があります。

一貫性・継続性を強める取組を行う際は、全てを統一しようとするのではなく、児童生徒の実態を勘案し、どのような取組を一貫させ、継続させることが望ましいかを吟味した上で、共通認識を持って取り組むことが大切です。

小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 (mext.go.jp) 【p26、p.36】より

Ctrl+クリックを！